

# 雇用堅調と賃金インフレ鈍化は米国株の支えに



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 雇用堅調と賃金鈍化受け米国株上昇

米労働省が2日に発表した5月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比33.9万人増（市場予想同19.5万人増）となり、米労働市場の堅調さを示す内容でした。半面、平均時給は前年同月比4.3%増と市場予想（同4.4%増）を下回り、賃金インフレが鈍化傾向にあることが示されました（右上図）。今回の雇用統計は、堅調な雇用と賃金鈍化が併存する内容だったこともあり、2日の米国株式相場は上昇しました。

米賃金インフレのカギを握る米JOLTS求人件数は減少基調にあり（同図）、求人検索サイトを運営するIndeedの米労働市場に関する最新データでも米求人件数の減少が示されています。また、米金融システム不安に起因した米金融機関の貸出態度の厳格化が企業の新規採用意欲の後退につながると思われる点から、米賃金インフレは今後も鈍化すると考えられます。

## ポイント② 賃金インフレ鈍化で利上げ停止近づく

FF（フェデラル・ファンド）金利先物市場では、米雇用統計の結果を受けて、7月までの利上げ確率が上昇しました（右下図）。5月の米失業率は3.7%と4月の3.4%から上昇したものの、堅調な雇用の伸びを背景に、7月FOMCまでに0.25%利上げする確率は8割超となっています。

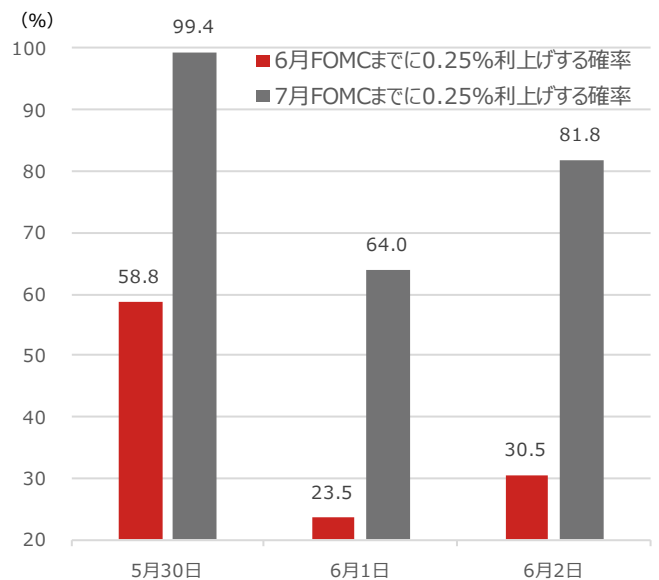
もっとも、米賃金インフレが鈍化基調にあることを受け、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ停止のタイミングは近づいてきたといえます。FRBの高金利政策は当面続くと思われるものの、米家計は潤沢な金融資産を保有しており、米経済の底堅さが持続するとみられるなかで、米国株の上昇基調は続きそうです。

## 米平均時給と米JOLTS（雇用動態調査）求人件数



期間：（米平均時給）2008年1月～2023年5月、月次  
（米JOLTS求人件数）2008年1月～2023年4月、月次  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

## 7月FOMC（米連邦公開市場委員会）までの利上げ確率3時点比較



期間：2023年5月30日～2023年6月2日  
・FF金利先物市場から算出した2023年6月～2023年7月FOMC（計2回）終了後時点の利上げ確率予想  
・5月30日は5月米雇用統計発表週の第1営業日、6月1日は5月米雇用統計発表日の前日、6月2日は5月米雇用統計発表日  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。